

さいたま市総合振興計画審議会（第2回） 会議録

日時	令和4年12月27日（火） 午前9時30分～11時15分
場所	ときわ会館502会議室
出席者 （敬称略）	<p>〔委員〕計15名 磯田 俊輔／内田 幸枝／内田 奈芳美／河野 公輝／久保田 尚 高橋 行憲／鶴見 清一／鳥海 修一／中島 マリ子／松本 敏雄 溝口 景子／持田 光司／横島 美智子／横道 清孝／渡邊 峻也</p> <p>〔事務局〕さいたま市 都市戦略本部：山中総合政策監 都市戦略本部 都市経営戦略部：田中副理事／星野副参事 島村主査／井口主査／北岡主任 都市局 都市計画部 都市計画課：石瀬参事、根上主査 都市局 都心整備部 都心整備課：蓮見参事、岡井課長補佐</p> <p>〔傍聴者〕0名</p>
欠席者	<p>〔委員〕計5名 秋元 智子／太田 敏之／富澤 洋／松本 雅彦／吉川 洋一</p>
議題	<p>1 開会 2 定足数の報告 3 議題 （1）新庁舎移転整備等を契機としたさらなる全市的な発展に向けて （2）その他 4 閉会</p>
公開又は 非公開の 別	公開
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 席次 ・ 資料1 審議会（第2回）における審議事項 ・ 資料2 将来都市構造の概要について ・ 資料3 現在の都市機能の集積状況について ・ 資料4 「都心」に関する補足資料 ・ 参考資料1 さいたま市総合振興計画審議会 第1回における主な意見

	・参考資料2 (仮称) 浦和駅周辺まちづくりビジョン(素案) ~概要版~
問い合わせ先	都市戦略本部 都市経営戦略部 電話 048-829-1035

1 開会

○司会 定刻となりましたので、ただいまから、「さいたま市総合振興計画審議会（第2回）」を開会いたします。

2 定足数の報告

○司会 はじめに、本審議会を開催するにあたりまして、定足数の確認を行わせていただきます。

さいたま市総合振興計画審議会条例第5条第2項により、本審議会の定足数は過半数と定められておりますが、本日の出席委員は、委員総数20名に対し15名となっております。定足数を満たしていることから、本日の審議会が成立していることをご報告いたします。

また、秋元 智子委員、太田 敏之委員、富澤 洋委員、松本 雅彦委員、吉川 洋一委員におかれましては、本日はご欠席となっております。

3 議題

○会長 それでは、議事進行を務めさせていただきます。

11月21日に開催した第1回の審議会では、「新庁舎の移転整備後のまちづくりに期待すること」について、ご議論いただきました。

本日は、「新庁舎移転整備等を契機に、さいたま市がさらなる発展を目指していくために必要なこと」について、議論を行いたいと思います。

○会長 初めに、会議の公開と傍聴の許可について諮りたいと思います。本日の会議を公開とし、傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

本日は、傍聴者がいらっしゃいませんが、会議は公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」）

ご異議がないようですので、本日の会議は公開としたいと思います。

○会長 では、これより、議題に入らせていただきます。

議題(1)「新庁舎移転整備等を契機としたさらなる全市的な発展に向けて」ですが、まず事務局より説明をお願いいたします。

（事務局より「資料1」から「資料4」まで一括して説明）

○会長 ただいまの説明につきまして、質問はございますか。

○河野委員 資料2「将来都市構造の概要について」のさいたまセントラルパークの中身について教えていただければと思います。また、資料3「現在の都市機能の集積状況について」、宿泊施設の所在が大宮駅周辺等に集積しているとあります。国際的な自転車競技やマラソン等のイベントが行われていると思いますが、需要に対する宿泊施設のキャパシティがわかれば教えてほしいと思います。資料にありませんでしたが、スポーツ施設は公営だけでなく、民間のジムなども含めた方がよいと思います。どうなっているかわかれば教えていただきたいと思います。以上3点について、お伺いします。

○事務局 さいたまセントラルパークについては、現在事業を進めているところであり、大宮区に防災機能等を兼ねた公園の整備を予定しています。2点目の宿泊施設のキャパシティについては、資料を用意しておりませんが、現在のホテル等の建設状況を見ると、需要に対して供給が足りない状況と考えています。3点目のスポーツ施設については、市で把握できる公共施設を用意しましたが、ご指摘の民間のスポーツジム等についても本来は加えるべきでしたが、本日は、今回ご提示させていただいた資料でご覧いただければと思います。

○会長 それでは、本日の審議事項に移りたいと思います。先ほど事務局より説明いただいた論点ごとに、委員の皆様からご意見をお聞きしたいと思います。

まず、「論点1 都心地区のあり方について（1）大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区の目指すべき方向性などについて」ご意見を伺いたいと思います。

○内田奈芳美委員 前回の審議会では、ウォーカビリティの強化が必要と話しました。市だけでなく、大宮駅周辺のさまざまな主体による取組を後押しできればよいと思いますので、ウォーカビリティの促進を目指すべき方向性として位置づけてほしいと思います。氷川参道は、風致地区にも指定されているように、環境保全の視点で、暮らしの質を守ることが大切だと思います。観光地として強調するよりは、ゆったり歩ける道を目指して、2つの地区をつないでいくという位置づけを強化していくことが重要だと思います。

○渡邊委員 大宮駅周辺は、わいわい楽しめるまちだというイメージが昔からあります。さいたま新都心駅周辺は落ち着けるまちで、遊ぶ場所はないけれど、静かで、施設や学習環境が整っているまちというイメージがあります。それは維持してほしいと思います。先程ウォーカビリティのお話がありました。さいたま新都心駅東口すぐそばから氷川参道を通って神社の方まで歩けるので、すでに流動性はかなりあると思い

ます。さいたま新都心駅東口は商業施設や大型マンションもできていて人口もかなり増えてきていると思います。一方で、大宮もさいたま新都心も駅の西口同士のつながりが見えず、廃れていくイメージがあるので、議論が必要だと思います。

○久保田職務代理 大宮とさいたま新都心を一体的に考えるのが市のスタンスですが、さいたま新都心駅と大宮駅との距離はかなりあって2 km 程であり、特に西側は離れています。そこを一体化するにはどうすればよいかをまず考える必要があると思います。資料4『「都心」に関する補足資料』を見てもらうとわかるように、何も無い状態です。それぞれの駅から1 km 離れたところの中間地点に何を持ってくるかを具体的に考える必要があると思います。歩くのが辛ければ、別の交通手段を使うこともあり得ると思います。土地利用と交通の両面についてしっかり議論することが必要だと思います。

氷川参道については、昔は交通量が多く、20年かけてようやくここまで来ました。1999年に大宮市と地元による協議会が立ち上がり、2019年に中地区だけ歩行者専用街区ができました。一の鳥居から南地区と北地区は今も歩行者専用化する取組が続いています。氷川参道については両駅の一体化と議論が少し違うと思います。別の財産として見てほしいです。沿道にカフェなどができてよい雰囲気になってきましたが、沿道がすべてそうなると思全体のイメージが変わってしまうと思います。

○会長 一体化の方向性をこの場で一つにまとめる必要はないので、色々なご意見があつてよいと思います。

○磯田委員 さいたま新都心から大宮に向けて、東口は道路が整備されてきました。西口については、国道17号を私はよく車で通りますが、ほぼ毎日夕方は特に渋滞しています。西口の道路を整えていく必要があり、まちだけが先行するのはいけないという印象を受けました。まちづくりだけではなく、道路整備にも課題があると思っています。

○横島委員 考え方の中に障害の有無にかかわらず、誰でもそこを気持ちよく歩ける道、例えば氷川参道を車いすでも自由に行き来できるということを考えていく必要があると思います。障害者の方、足の不自由な高齢の方には段差の解消などバリアフリーの考え方を取り入れる必要があります。耳が聞こえない人にとっては、目で見える情報が必要です。また、視覚障害の方にとっては点字ブロックが必要です。そういったことも検討してほしいと思います。

○鶴見委員 先ほど意見があったように、大宮駅とさいたま新都心駅は離れすぎていると思います。その中間に何か目玉となるものがあればよいのではと思います。氷川参道の横に以前は市民会館おおみやがあり、今は駅前に移りました。あの敷地はどうするのでしょうか。おおよそのことは決まっているのでしょうか。何か建てればよいと思います。

○事務局 大宮駅東口については、公共施設再編の事業が進んでいますが、旧市民会館おおみやの利活用について現時点では決まっていません。

○鶴見委員 もし決まっていなければ、その土地を有効活用していくことがいいと思います。

○松本委員 先日、スポーツ施設が避難場所としても使えるという話をしました。市民が健康維持のために、スポーツやレクリエーションできる施設をできる限り多く設けてほしいです。さいたま市は政令市の中では面積が狭いですが、豪雨や台風の時、10区の中でも被害に差が出ます。広域避難が可能なところに、そうしたスポーツ施設を増やすことをあわせて考えてほしいと思います。地域の人が気軽にスポーツできる場所になると思います。

それから、これからの時代、ボランティアを育てていかないと、いざという時に力になってくれないと思います。氷川参道もボランティアが清掃してくれています。さいたまセントラルパーク構想については、現状ではなかなか勢いが出てこないように見えます。大宮公園の第3公園からさいたまセントラルパークに緑をつなげる構想があればよいと思います。見沼たんぼの開発の難しさはありますが、ある程度将来像を描きながら進めていく必要があると思います。

私は自治会連合会に関わっています。市に入ってきた方には自治会に入ってもらいたいです。地元で大規模な集合住宅ができる際には、事前に情報をキャッチして、関係者と話し合っ、約束までは取り付けます。しかしいざとなると、関係者は、自治会への加入を住んでいる人の自由にさせてしまいます。そうすると、自治会として大きな力になりません。さいたま新都心駅周辺に約1,400世帯の集合住宅ができた際は、自治会を作って、連合会に入ってもらおうよう依頼し、実現しました。さいたま新都心地区は災害に強いと言われており、自治会がきちんと機能していることが防災の面で役に立っていると思います。駅周辺の開発に関わる部分は、できる限り行政の力を借りて、将来を見通した形を進めるべきだと考えています。

○渡邊委員 さいたま新都心地区の近くに北与野駅があります。北与野駅とさいたま新都心駅をつなぐデッキについて、どれくらいの人が何の目的で利用しているか知り

たいです。さいたま新都心に行くときに、埼京線を利用する場合、北与野駅から歩く市民はかなりいると思います。デッキは、便利だと思いますが歩くには距離があると思います。また、西口側に関して、大宮駅からさいたま新都心駅へのつながりは、大宮駅から北与野駅への道筋が最短ルートとなると思います。一つ目の案として、北与野駅とさいたま新都心駅をつなぐデッキを、動く歩道にして歩行者が歩かなくても流れるようにすることで、流動性ができると思います。二つ目の案としては、西口の幹線道路の緑道化をするとよいと思います。

○事務局 北与野駅からさいたま新都心駅をつなぐデッキについて、設置の経緯などは次回お示ししようと思います。

○会長 これより、「論点1（2）浦和駅周辺地区の目指すべき方向性などについて」に入らせていただきます。

○持田委員 浦和を文教都市としたいということですが、産業も重厚長大な産業を持つてくることはないので、研究開発機関やインキュベーション施設等のハイエンドな産業を誘致してはどうでしょうか。

○久保田職務代理 浦和駅前は大団なタクシープールとバス停で、殺風景だと昔から思っていました。今後、駅についてはどのような整備が予定されているか教えてほしいです。

○事務局 （仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョンの検討において、駅前のリ・デザイン（最適化）、人中心の駅前にする必要があるかという議論があり、参考資料2、4ページの展開2にもあるように、駅前の在り方の検討を進めているところです。

○内田奈芳美委員 浦和は外部からのイメージがものすごくよい印象があります。資料に風格があるデザインとあり、その通りのイメージです。風格で魅了する都心地区とありますが、文化的、歴史的なものがかなり失われていることも事実です。今あるものを大切にする視点も大切だと思います。開発が進み、マンションの建設が増え、マンション同士が近接する住環境は問題があるとも思います。発展と保全のバランスをどう取るかが重要だと思います。

○河野委員 現庁舎は駅から離れているので、こちらまで人が来なくなると思います。そのことを検討することは大事だと思います。大学等の学校施設を中心に跡地利

用を考えてほしいです。大学等の学校施設ができれば、浦和駅までの風情のある通りも廃れることなく、発展できると思うので、検討してほしいと思います。

○横島委員 大人なら楽しめるようなイメージが浦和にはあると思います。大人だけでなく、子どものことも検討して進めてほしいです。文教都市なので、子どもが職業体験できる施設など、子どもが学べるような施設を新しく作るとよいと思います。将来を担う子どもたちが何か学べる場所を考えてほしいです。

○磯田委員 埼玉会館の裏には、以前図書館があり、現在空き地になっていますが、その跡地の予定はどのようになっているのでしょうか。

○事務局 子どもたちも使える広場となっています。（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョンの検討の中で、公共施設の再編も含めて、どのようにまちの魅力を高めていくかを検討してまいります。現在の広場機能を中心に考えるか、公共施設、違う施設を考えていくのか、浦和ビジョンを共有しながら検討していくものと考えています。

○会長 これより、「論点1（3）2つの都心地区の連携などについて」ご意見をいただきたいと思います。

○磯田委員 これまで道路整備についてご質問してきましたが、車やバスは限界があると感じています。外国人観光者の受入も含めて検討しているということもあり、モノレールで交通のつながりをつくってみたいとはいかがでしょうか。伊奈にニューシャトルが通っているので検討してみたいです。無理難題かもしれないですが、障害者の方も含めてこのまち周辺を活性化するには新たな交通機関をつくることも必要だと感じました。

○久保田職務代理 かなり前に、大宮と浦和を8の字に結ぶモノレール構想がありました。今の時代、簡易な乗り物でそうした構想を復活させることはあるかもしれません。大宮と浦和の連携とは何かを考えねばならないと思います。大宮駅と浦和駅の距離は、東京駅と新宿駅の距離より遠いです。東京と新宿を連携しようという話にはならないように、大宮と浦和も道路や鉄道はしっかりあるので、無理矢理連携しなくてもよいと思います。2つの都心が競い合って、より高め合っていく、よいライバル関係でよいと思っています。お互い高め合う関係をずっと続けていけば、さいたま市全体が発展していくと思います。

○内田奈芳美委員 私も同じ意見です。物理的にはかなり離れています。それぞれの位置づけや機能分担の方が適切な表現だと思います。大宮とさいたま新都心は近接しているので一体的な連携の議論が出てくるとと思いますが、浦和から市庁舎が移転するので、県庁と市役所が離れるとコミュニケーションの難しさがあると思います。フィジカルな連携よりも、機能的な連携の方が適切な表現だと思います。

○松本委員 さいたま市合併時は、ネーミングから市役所位置など議論がありました。庁舎が動くことは大変なことで、ある意味被害者意識が見え隠れすることもあります。本庁舎の会議を20数回やって、ようやくさいたま新都心で合意されました。時代とともに産業が変わったり、社会構造が変わってくると、それに合わせて変化せざるを得ないと思います。相互に競い合いながら、連携して発展させようという捉え方で連携というのがあると思います。

○会長 論点1 (1) (2) (3) を通してご意見ありますか。

○渡邊委員 (2) について、武蔵浦和駅と浦和駅が似通ってきていると思います。武蔵浦和駅は、何も無いところから高度化してマンションができて、近代的な雰囲気、とてもいい発展をしていると思います。浦和駅は7、8年前まではまだ、小さな店や文化的な家屋などがたくさんありましたが、今はマンションが増えてきています。そういう目に見えない文化は残して、他の駅と差別化してほしいと思います。

○磯田委員 私は浦和区に住んでいます。自宅の前に築60年の家屋があり、解体後の跡地にマンションが建設されています。マンションが乱立している現状があり、仕方ないことかもしれませんが、浦和の良さを守るためにも、建物の高さ制限や景観について考えてほしいと思います。文教都市としてのイメージを守っていくことも必要だと感じています。

○会長 これより、「論点2 21世紀半ばを見据えた将来的な都市づくりの方向性について」に入らせていただきたいと思います。

○久保田職務代理 地下鉄7号線の延伸についてまだ決まったとは言えないですが、市や県はその方向で議論しています。中間駅のまちづくり構想も公表された通り、中間駅周辺の開発が検討されています。人の流れもできていくと思います。

将来都市構造のイメージ図に、横の線、東西連携軸（構想）とありますが、国では、核都市広域幹線道路という新しい環状道路を外環道と圏央道の間につくる方向で議論がスタートしています。完成までに時間はかかると思いますが、西は所沢方面、

東は越谷方面にさいたま市とのアクセスが向上するため、さいたま市の中心性が高まると思います。現在外環道のインターチェンジは間隔があいています。今後はETC専用入り口が当たり前になる時代で、インターチェンジを設置しても人件費がかからず、より短い間隔に設置できるため、うまくいけば市内に複数のインターチェンジができるかもしれません。市内から新しい高速道路に乗り降りしやすくなり、市内の移動も円滑になると思います。そのあたりの議論をそろそろ始めるのがよいと思います。

○会長 それでは、全体を通じて、さらにご意見はありますでしょうか。

○河野委員 今後の都市づくりについて、市内には見沼たんぼがあり、住む場所の近くに憩いの場があります。公園をつくる際には、そういった元々いい環境のところにつくるのではなく、建物があつたところを公園として整備するといった、本当の意味で、緑を増やして憩いの空間をつくるような都市づくりを考えてほしいと思います。

○渡邊委員 市内に住んでいて緑を実感できることがあまりないです。見沼たんぼを売りにしていると聞きましたが、実際は活用されていないです。駐車場もなく、行くのに不便で、隣接する大型公園もありません。横浜市の方が緑を楽しめる印象があります。市民としての願いは、もう少しすばやく、大人や子どもがリラックスして楽しめる緑や公園を増やしてほしいです。もう一つは、南区を東西に移動するには、丘や川が多く電動自転車がないと厳しいです。幹線道路だけでなく、細かい道路も通るバスを増やしていただくと東西の移動がしやすくなると思います。

○鶴見委員 東西連携軸や南北をつなぐ地下鉄7号線は、いつになったらできるのでしょうか。具体的にどこまで話が進んでいるのか伺いたいと思います。また、岩槻は大宮の人から遠いと思われる体験をしたことがあります。浦和～大宮間と距離的にはあまり変わらないのに、遠方というイメージを持たれているようです。

○久保田職務代理 地下鉄7号線については、需要予測を何度かやっていました。20年以上検討しており、今までは客が乗らないだろうという予測でしたが、平成29年、平成30年頃に、色々な工夫をすると十分採算に乗るという予測が出ました。計画の後戻りはないと個人的に思います。

○鶴見委員 開発は、あらかじめ予想されたものにもとづいてやる方が効率的だと思います。そうした考え方でまちづくりを進めることも必要です。

○内田奈芳美委員 副都心から新庁舎へのアクセスは、現庁舎地へのアクセスよりは、改善されると思います。さいたま新都心の新庁舎に来る人が、どう大宮に来てくれるか回遊を考えることの方が重要だと思います。新庁舎の予定地を見た時に、見沼がかなり近いと感じました。バスを利用しても、大宮からだと見沼まで20分以上かかります。先日見沼を訪れて市民活動をしている方に話を聞きましたが、この地域は活動するうえで十分な大きさがあると言っていました。見沼に観光客を誘致すべきかかという、見沼は人が沢山訪れる場所である必要はなく、適度に活用できるのであればいいと思います。新庁舎移転により、機能を集積する場所と見沼の近接性を改めて意識させる良いチャンスだと思いますので、強調されるとよいと思います。

○会長 頂いたご意見は、事務局にて、次回に向けて整理していただければと思います。他にご意見もないようなので、本日はこれで終了したいと思います。

○事務局 事務局より事務連絡です。次回第3回審議会は1月19日（木）午前10時00分より行います。場所はさいたま市役所議会棟3階全員協議会室になります。

○司会 それでは、委員の皆様には、長時間にわたり、ありがとうございました。以上をもちまして「さいたま市総合振興計画審議会 第2回」を終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。

4 閉会

以上